

看護師・介護職 のための仏教講座



～臨床現場における苦しみとその解放～

参加費
無料

2019.10.12(土)

13:00～17:00

会場:本願寺津村別院(北御堂)
「津村ホール」

大阪市中央区本町4-1-3

対象者:看護師、介護職、本会に興味関心のある
医療従事者・学生、その他希望者



ビハラー総合施設
ブース出店

あそかビハラー病院と
特養ビハラー本願寺の
概要を説明します。
就職を希望される方も
ぜひお立ち寄り下さい



医療や介護の分野、緩和ケアや終末期医療などの臨床現場では、
生の見守りと死の看取り、解決できない問題点と向き合わなければならないなど、
看護師、介護者は「心のもやもや」や葛藤などを抱えながら日々ケアにあたっています。
仏教の智慧に学びながら、少しでも参加者のみなさまの心が穏やかになるよう考えてみたいと思います。

12:00 受付開始

13:00 開 会

13:10 講 演

17:00 閉 会

講演

1



「苦しみとは何か？」

那珂川病院 緩和ケア部長／浄土真宗本願寺派真教寺副住職／西本願寺医師の会世話人

月江 教昭

講演

2



「苦しみからの解放」

ビハラー総合施設理事長／浄土真宗本願寺派稱名寺住職

出口 湛龍

講演

3



「あそかビハラー病院での緩和ケア」

あそかビハラー病院院長／西本願寺医師の会 顧問

大嶋 健三郎

ビハラーとは？

「ビハラー」(Vihara)とは、古代インドにおいて仏教経典の記録などに使用されたサンスクリット語で、「精舎・僧院」「身心の安らぎ・くつろぎ」「休息の場所」を原意とします。
浄土真宗本願寺派では、1987(昭和62)年に「ビハラー活動」が始まりました。
この「ビハラー活動」とは、仏教徒が、仏教・医療・福祉のチームワークによって、支援を求めている人々を孤独のなかに置き去りにしないように、その心の不安に共感し、少しでもその苦悩を和らげようとする活動です。

申込み方法

お申込用紙(チラシ裏面)へご記入
いただき、FAXまたはご郵送いた
だくか、同内容をEメールにて、お申
込みいただきますようお願いいた
します。

締切10月7日必着

お問い合わせ
申込み先

西本願寺 医師の会 事務局

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所 統合企画室内
TEL:075-371-5181(代表) FAX:075-351-1372
E-Mail:ishinokai@hongwanji.or.jp
HP:ishinokai.hongwanji.or.jp